

「富富富」栽培特報



田植後の気温は概ね平年より高めで推移していることから、「富富富」は順調に生育しています。

今後は適期の溝掘りや中干しにより、適正な生育に誘導し、高品質で美味しい「富富富」の生産を目指しましょう！

1 溝掘り・中干し ~根をしっかり伸ばすとともに、過剰な分けつを抑制~

・「富富富」はコシヒカリより葉色がやや濃く推移するので、適正な葉色に誘導するため、必ず田植後3週間を目安に軽い田干しを行った後、田植後4週間（株当たり茎数16本程度）までに溝掘り・中干しを行いましょ。

●溝掘りのポイント

- ・軽く田干しを行い、土を落ち着かせてから溝を掘る。
- ・溝の間隔は5mに1本を目安とし、乾きにくい場所は重点的に実施する。
- ・ほ場の周囲と中央の1本は、特にしっかりと掘る。
- ・溝は水尻まで確実に連結する。



【中干し終了頃のほ場の状態】

●中干しのポイント

- ・田面に小さなひび割れが入り長靴の跡がつく程度まで干す。
- ・表面に水がなくても足が沈むようでは不十分です。

2 水管理 ~適度な酸素と水分を供給し、根や稲体を健全化~

・中干し終了後～幼穂形成期までは、「1日湛水・やや長めに落水(3～4日)」の「**間断かん水**」を行いましょ。

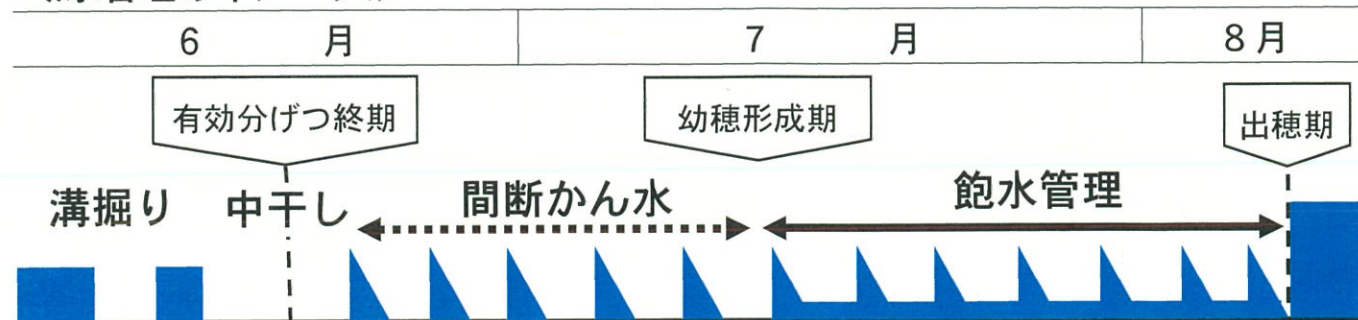
間断かん水の効果

- ①適度な酸素と水分を供給し、根のさらなる伸長促進、稲体の健全化
- ②適正な籾数への誘導

※「富富富」は葉色が濃く、茎数が過剰になりやすいため、**間断かん水**はコシヒカリより落水期間を長めにし、幼穂形成期の葉色を4.0程度に誘導しましょ。

・また、幼穂形成期以降は、水分不足にならないよう**飽水管理**を行いましょ。

《水管理のイメージ》



栽培基準を守り、高品質で美味しい「富富富」の生産を！

3 「エスアイ加里」の施用 ~「ケイ酸」と「カリ」成分を補給~

- ・県内の水田土壌は、「ケイ酸」と「カリ」成分が大幅に不足しています。
- ・施用により稲の受光体勢の改善、下葉の枯れ上がり防止等の効果が期待できるので、「富富富」でも積極的に施用しましょ。

肥料名	施用量 (10a 当たり)	施用時期
エスアイ加里らくだ	15 kg	6月20日～25日頃
エスアイ加里カリ投げくん	4 kg (200g×20個)	

4 後期除草剤の散布 ~化学合成農薬の成分使用回数「12以内」を厳守~

- ・ヒエや広葉雑草が残っている場合は、後期除草剤を散布しましょ。
- ・今後の本田防除も含めて、**化学合成農薬の成分使用回数が12以内**となるように注意して使用しましょ。

※今後の病虫害防除で「4成分」を使用する予定です。その他、**農薬成分使用回数**について不明な点がある場合は、事前に営農指導員へご相談ください。

対象雑草	農薬名	成分数	散布時期	散布量 (10a 当たり)
ヒエ	トドメMF1キロ粒剤 (5cm程度の湛水状態で散布する)	1	田植後14日～ノビエ5葉期 (収穫50日前まで)	1 kg
広葉雑草	バサグラン粒剤 (落水してから散布する)	1	田植後15～55日 (収穫60日前まで)	3～4 kg

5 区分管理上の留意点 ~「富富富」と他品種をしっかり区分して、混入防止~

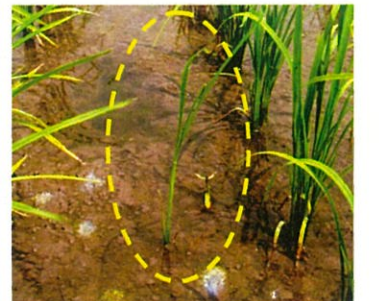
- ・異品種混入を防止するため、浮き苗を取り除きましょ。前作が他品種のほ場は、条間や株間に生える前年の漏生籾由来の稲株を確実に抜き取りましょ。

気温が高くなるこれからの時期は、雑草の生育が旺盛になります。こまめな除草管理で、**斑点米の原因となるカメムシ類の発生量を抑えましょ！**

斑点米の原因となる主なカメムシ類



アカヒゲホソミドリカメムシ アカスジカメムシ クモヘリカメムシ



【漏生稲は抜き取る】